

ド・レ・ミの園児が乗馬体験 にいかつぶ乗馬連盟が協力



6月2日、認定こども園ド・レ・ミの3歳から5歳の園児が乗馬を体験しました。
これは、にいかつぶ乗馬連盟が地域への奉仕活動として毎年実施しているもので、この日は、サラブレッド1頭、ポニー2頭が登場しました。
園児たち118名は、同連盟スタッフのサポートを受けながら、馬産地ならではの体験を楽しみました。

にいかつぶ観光協会軽トラ市 今年も10月まで毎週開催



6月4日、今年で5年目を迎える軽トラ市が、道の駅構内で始まりました。
軽トラ市は、にいかつぶ観光協会が主催する地元食材の直売会で、毎週土曜日の午前10時から実施しています。
6月は4回の開催でしたが、例年以上に売れ行きが好調で、開始15分でほとんどの商品が完売することもあるほどの人気となっています。

新しい地域おこし協力隊員 小野暢茂さんが着任



6月より、新しい地域おこし協力隊員として小野暢茂さんが着任しました。
小野さんは、奥さんと子ども3人の5人家族で、これまで主に酪農ヘルパーとして勤務されてきました。
今後は、独立就農し酪農を営みたいとの想いがあるようですが、現在は、町内の農業を体験するため、ピーマン農家などで研修を積んでいます。

東町自治会で芝桜の苗植え 自治会会員87名が参加



6月5日、東町自治会会員87名が、芝桜公園の芝桜の苗の植え込みを行いました。
東栄団地横の芝桜公園は、以前は春に満開の花が咲いていましたが、最近は枯れたものも多く、この度、植え替えをすることとなりました。
当日は、約4000株の苗が用意されましたが、多くの住民の参加により約3時間で植え込み作業が終わりました。

幌尻岳を名勝に指定 教育委員会が解説看板設置



6月7日、新冠温泉前に、名勝ピリカノカに指定された幌尻岳を紹介する看板が設置されました。
名勝ピリカノカとは、道内のアイヌ民族の歴史や伝承といった文化的背景と結びついた名所などを、国指定の文化財「アイヌ文化に関連する名勝・ピリカノカ（アイヌ語で美しい形）」に指定し、保存や保護をしながらアイヌ文化と北海道の大自然について理解を深めてもらうことを目的としています。
幌尻岳は、「七つ沼カール」と呼ばれる沼や数々の動植物が生息する豊かな自然を有し、また、アイヌ文化や伝説が息づくところであると認められ、平成25年10月17日に国指定文化財の名勝として指定されました。

ま ち の
話 題
あ れ こ れ

プラスワンセミナー

葛西紀明講演会

6月19日、レ・コード館でプラスワンセミナーが開かれ、スキージャンプの選手としてオリンピックやW杯で活躍する葛西紀明さんが講演しました。
「夢は、努力でかなえる」と題した講演では、葛西選手の生い立ちや、カミカゼからレジエンドと呼ばれるようになったエピソード、数々の大会での裏話などをユーモアを交えて紹介し、さらに、来場者にメダルの重みを実感してほしいと、ソチオリンピックで獲得した二つのメダルを回覧しました。



講演の最後には、「次のオリンピックも出場して、金メダルをとりたいです」と抱負を述べ、来場者から大きな拍手を受けていました。

郷土資料館ふるさと再発見講座 ふるさとこの夜空を見上げよう！



6月10日、字若園の新冠こたにがわ学園で、天体望遠鏡を使用した天体観測が行われ、会場には、町内外から53名の参加者が集まりました。
講座では、天体についての学習を行った後、巨大な天体望遠鏡を使用し、月や土星などの観察を楽しみました。
当日は好天にも恵まれ、参加者は新冠の星空の魅力を感じることができました。

にいかつぶスポーツ少年団 運動適性テスト実施



6月18日、町民スポーツセンターで、新冠町スポーツ少年団が町内の各少年団の団員を対象とした運動適性テストを行い40名が参加しました。
運動適性テストとは、年齢を問わず運動の基礎となる能力や体の動きなどの適性を科学的にとらえるテストで、参加者は「上体おこし」や「時間往復走」、「5分間走」など5つのテストに挑戦しました。

字太陽・眞野康彦さん

瑞宝単光章受章



この度、字太陽の眞野康彦さんが瑞宝単光章を受章し、6月21日、眞野さんの自宅で林健一新冠消防団長より、勲記と勲章が伝達されました。
眞野さんは、昭和41年に新冠消防団第5分団に入団され、平成8年から分団長、19年から新冠消防団副団長を歴任され、地域の消防活動に尽力されてきたことにより、この度の受章となりました。

町と自衛隊静内駐屯地 留守家族支援に関する協定の締結



6月27日、町と陸上自衛隊静内駐屯地は、町内の自衛隊員が大規模災害などで派遣されたときに留守家族を支援する協定を締結しました。
支援内容は、隊員が派遣されているときの留守家族の子育て支援や介護などの福祉サービスの情報提供、健康・医療相談などで、協定の締結により、隊員が安心して任務にあたることができます。